



真剣な面持ちで太鼓ばちを振り上げる

お お く て 大 祭



志多らの太鼓ワークショップを終えて

残り1枚となったカレンダー
心せわしい師走が始まった
時の過ぎるのを速く感じるのは
感動がない日々を過ごしているからか

主な目次

第34回大湫町文化祭	1
音元・大湫思い出掘り起こし	3
繋がりと広がり	5
福祉大会について	6
北中学コミュニティ・スクール	7
スズメが絶滅の危機だって	8
市美術展入賞者	9

第34回大湫町文化祭

大湫町、文化祭開催

11月2・3日、文化祭を大湫町コミュニティセンターにて開催。

作品はロビーや講堂に展示。2階会議室は昨年に続き1000円コーヒー店が開店。ここは「懐かしのレコードを聞きながら」の喫茶室になりました。

ロビー展示は寄せ植え作品。異色展示は60年ほど前の子ども遊び道具のばんこ（メンコ）。

寄せ植えは毎年多くの出品があります。作品は、10月27日に山口雪子さんを講師に創作したものを初め、多数の作品が出品されました。大湫の豊かな自然を狭い空間に再現された苔玉は、特別な植物が使われているわけではありませんが見る人を惹きつける新鮮さがあります。それは器との相乗効果となり全体とし



左は子どもたちの絵画や町民の陶芸、彫刻、竹細工製品などの展示作品

ての一体感が生まれているからなのでしょう。

大湫には芸術家が多い。彫刻家、陶芸家はいずれもプロ。石に絵を描くストーンアート作家、写真は趣味だといわれるが、駅前地域交流センター「ときわ」で写真展を開催されるほど。竹細工やパッチワークをされている方など多様で、芸術的なレベルが高い。

瑞浪北中学・釜戸小学校・竜吟幼稚園の生徒・児童・園児の作品も毎年展示されます。

古着を再利用した作品や布草履は、まさに持続可能な社会を目指すエスデイジーズ（SDGs）そのものです。

瑞浪市の美術展で、写真・手工芸の部で町内の5点の作品が入賞。この入賞作品も展示され、鑑賞者の目を引いていました。

文化祭を終えて

公民館館長 松浦大哲

今年度は十一月二・三日の二日間、大湫町文化祭が開催されました。

本年は、市制70周年の記念式典が二日に総合文化センターにて行われました。午後からは市長さんを始めとして、県議・市議会議員・市関係者各位にご来訪いただきました。

展示の部については、今年度第71回瑞浪市美術展において、



市美術展入賞作品



作品を熱心に見る観覧者

入選された
作品写真
の部では
棚橋義光
さん、須
山教子さ
んのお二
人、手工
芸の部で
は棚橋義
光さん、須



苔玉作品



懐かしのレコードを聴きながらのコーヒータイム

山教子さん、木村良子さんの5作品が昨年に引き続き入賞され、展示に色を添えていただきました。今後ともよろしくお願いたします。

また、昨年と同様に二回目の「懐かしのレコードを聴きながら百円コーヒーを今年も」とお願いしたところ、快諾いただき開催することが出来ました。特に二日目の3日(文化の日)は穏やかな天気に恵まれ、中山道を歩いてこられた方々も立ち寄り文化祭を見て頂き、コーヒーも飲んで休憩して頂きました。ありがとうございました。

大杉音元

企画：チームてて

大湫町のシンボルだった大杉が倒れ、はや4年。倒木した大杉の材は太鼓やヴァイオリンなどの楽器、「きなあた瑞浪バークキョー場」のテーブルにと姿を変えて生き続けています。

今年も「チームてて

て」の企画で「大杉音

元」が催されました。こ

のイベントは二日間の日

程。「志多ら和太鼓ワーク

シヨツ

プ」「志

多ら合

同演奏

会」「大

湫思い

出掘り

起こし



24日のミニコンサートの様子

ワークシヨツプ」は、11月10日に。「ヴァイオリン演奏体験」「ヴァイオリンとピアノとソプラノミニコンサート」「大杉を見ながら抹茶会」は、24日に開催されました。

大湫思い出掘り起こし ワークシヨツプ

岐阜工業高等専門学校5年

藤内湧月

11月10日(日)に、市図書館が保有する白黒写真からカラー画像を作成したものを用いてワークシヨツプを行いました。当日は多くの方々にワークシヨツプに参加していただき、ありがとうございます。皆さんのおかげで数多くの貴重な話を聞くことができました。ワークシヨツプを通して私が一番印象に残ったのは、

昔の思い出を話す時の皆さんの表情でした。ここでこんなことがあった、昔はこんなふうだった、と思い出を話す皆さんの表情はとても楽しそうで、

大湫町という地

域に対しての愛情を強く感じました。

私自身、大湫町を訪れるのは三日目で、初めて訪れた時に感じたのが町の温かさでした。それは中山道を少し回った時に感じたことでしたが、その時の感覚は根拠もなく、なんとなくでしかありませんでした。しかし、今回のワークシヨツプを通じてその温かさを体感しました。

私達が分からない言葉やものがあった時は丁寧に教えてくださったこ



昔の写真に思いで話し

と、昼には飲み物や五平餅など差し入れをしていただいたこと、その多くの優しさが初めて町に来た時に感じた感覚の正体で、大湫町という地域全体に滲み出しているのではないかと思えました。またそのような遣いや優しさが大湫町をより魅力的にしているのだと実感しました。(五平餅とても美味しかったです！)

また「地域が丸となって町を守る」この言葉が事実として存在している、そう感じたのは大湫町が初めてでした。

私も、地域の未来を継ぐ者として、自分が住んでいる町を大湫町のような温かい地域にするためにどうすればよいか、地域と向き合う良いきっかけとなりました。改めて、ワークショップに参加していただいた皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

家庭菜園に 役立つ 農作業

「家庭菜園に役立つ農作業」シリーズでは、「クテの市」に農作物を出品いただいている皆さんを中心に知恵や極意を教えてくださいました。

「なるほど!」「やってみよう」と思えるヒントをいただけたと思われた方も少なからずあったのではないのでしょうか。

今回は、失敗に学ぶことは多々あると思ひ、そうした事例を掲載し最終回とします。もちろん今年だけの例外的なものもあったかもしれませんが…。

事例1 適期の選択が難しかった

今年はいつまでも高温で、「種まきの時期が定まらなかった」とAさん。「ダイコンを3回もまいた」「芽が出ず、出てもとろけるように腐った」「秋ジャガの芽が出ず、種芋が土の中で腐ってしまい、芽が出たら寒くなって…」

事例2 重大な害虫・害獣被害

高温のためか、虫の被害に悩まされた。ダイコンハマシ・カブラハバチ(黒いイモムシで触ると丸くなる)による葉の食害やヨトウムシ被害。「ネットを掛けていたのに」。「農薬は使いたくないし」。「レースのようになった。もう作りたくない」とBさん。竹酢酢を薄めて散布したり、毎日が虫取り作業だったりとも。ノウサギ、カラス、ハクビシン対策にネット張りに、うんざり。疲れるー。

事例3 間引きの重要性

手抜きと言え言えなくもないが、手が回らなくなり間引きを怠ったため貧弱な苗になった。雑草に落花生が覆われてしまった。Cさん「昼間は暑くて、と自分に言い訳。でも今年のような猛暑では」とあきらめ気味になったと。

記事掲載に協力をいただいた皆さん、ありがとうございました。

繋がりと広がり

大竹悦子

その一 瑞浪市制施行70周年

記念式典から

記念式典で表彰されました町内のご三方、おめでとうございました。

式典のオープニングは、瑞浪中学校吹奏楽クラブ、瑞浪北中ブラスバンドクラブ、瑞浪高等学校吹奏楽部、そして瑞浪市消防団音楽分団の四つからなるこの日のために組まれた合同チームの演奏でした。日頃は別々に活動しているのに一緒に練習を重ねられてきた努力は、聴く者の心を言葉一つでは、伝えきれない感動をいただきました。

また、来賓の方々の多かった事。その多さは、市内だけではなく、災害時協定市（愛知県の高浜市・埼玉県朝霞（あさか）市、滋賀県の湖南市の遠方から、こうした場にも参列いただけ

た事です。9月には、市民公園で総合防災訓練にも3市からの応援物資受け入れ訓練として参加いただき、そのお姿に篤い物を感じた事を鮮明に覚えています。そして式典の会場での事、困ったときだけでなく式典の場にも、温かさを感じ、人は繋がりの中で生きていける喜びをいただきました。

式典の締めは、市内公立中学校3年生全員による合唱でした。ステージ一杯に重ねて並ぶ生徒の多さだけでも体が後に押される思いがしました。下から沸き出る声の迫力に一瞬体が浮いた思いがした大合唱でした。今年度3月には、それぞれの道にはばたこうとしている姿そのものでした。

70年創り上げてきた瑞浪市をこれからは、この子らが、つなぎ、広げてくれる安心感をいただきました。

その二 大湫広報先月号

「アサギマダラ」

11月3日文化の日の事。あつという出来事がありました。ロビーに展示されていた11月号の表紙の写真が、偶然、観光客としてみえたアサギマダラの

愛好家の一人の方の目に止まりました。私が見た。私が謎だった羽根に書



かれていた記号の文字「GN」がどこの場所かを教えてくださいました。「GN」は、岐阜県の中津川市でした。中津川から大湫まで、10日かかって飛来した事が判明しました。他にも、読めなかった部分の文字

福祉大会について

は、記録した人の名前のはず。アサギマダラは、この先、近いところでは渥美半島、遠いところは台湾まで飛んで行く(帰って行く)事も教えていただけました。

長かった夏の日が終わり寒さも感じるこの頃、思う事は、今頃、あの感動をくれたアサギマダラたちは、無事生まれ故郷へ戻れたかな、卵をはぐくみ、その卵から産まれた子たちは避暑地の帰りに、また、長谷川さん宅のフジバカマで羽根を広げる姿を楽しませてくれるかな。

大変な大湫、先の不安を抱える中、協定締結市の温かい心、未来を託せる子どもたち。アサギマダラを紹介して出会えた愛好家の方につながりと広がりをお願いしたい日々でした。

赤岩氏と

古橋、安田のご夫妻らが表彰

大湫では、功労者表彰で赤岩 紀さん、高砂祝福者で古橋起洋史・百合子夫妻。安田次美・信子夫妻の2組の方が対象でした。本当におめでとうございました。

午後の演芸の部では多治見署の生活安全課の「振り込め詐欺について」の話に続いて15組の出演者による演芸が行われて大湫より桐井勝子さんの舞踊で「寿松竹梅」。その他、西尾久子さん、西尾栄子さん、伊藤芳子さんの3人の仲間の方もそれぞれ出演して頂いて大変好評でした。

渡辺 栄二



瑞浪市長寿クラブ連合会の福祉大会が10月11日、総合文化センターにおいて水野市長、小川県議、成瀬市議会議長、小栗社協会長、市健康福祉部長他担当者に来賓として出席頂いて開催されました。

熊澤清和会長より次の各個人や団体が表彰されました。

会員及び家族が寝たきり状態となり、3年以上介護された方と会に対し、有形無形の援助協力された4名の方に「功労者表彰」。

会の指導者育成に努めた人、会員の活動が顕著で功績のあった個人、団体等の26名の方に「米寿祝福状」。

会員で88才になった26名の方に「高砂の祝福状」。会員で結婚50年を経過された夫妻4組の方に会長よりそれぞれ贈がありました。

北中学校ミニディスクール

家庭科授業お手伝い

参加してきました

小栗 保里恵

町内の回覧の案内で、北中の家庭科授業の事を知り、お手伝いに行ってきました。

お手伝いとは、どんな事をしたら良いのかと不安もありましたが、一年生の二クラスの調理実習にお邪魔させて頂きました。私を含めて参加されていたのは一日目は三人、二日目は六人、お孫さんが居るのでと参加される方もみえました。

メニューはそれぞれ、豚の生姜焼きときんぴらごぼう・さばのみそ煮とポテトサラダ。先生の説明から始まり、調味料の計測、野菜を洗って切る。魚の下処理、器具の準備などなど、することは沢山です。あ



せている様子もあり「じゃがいも上手く剥けないよ」「芽ってどうやってとるの」とか、魚をさわるのが苦手そうな手先、なかなか切れ目が入りません。「包丁を動かして切ったほうがいいよ」と手を取って一緒にやってみました。しばらくすると上手に切れる様になっていました。「じゃがいも、もう見てもいいかな」と蓋を開けると、かなりの水の量にビックリ。「水を減らそう」と言えばすぐに動いてくれます。ギリギリ時間内に完成。ホッとしていると、生徒さんが笑顔で「余分が出来たので食べて下さい」とおすそ分け。とても美味しく頂き、元気を貰って帰りました。

振り返ってみて、普段の生活の中で中学生の子供達と話したり、教えたりする機会がありません。生徒さん達もいろいろな人と関わるこの機会、少しでもやばりなおばさん位で良かったかな?と。

お知らせ

リニア中央新幹線工事にかかる地表面計測結果について

既にリニア中央新幹線工事にかかる地下水位の計測結果、トンネル内湧水量、工事の進捗状況について、大湫コミュニティセンターロビーの掲示パネルに掲示しておりますが、これらの資料に加え、11月から地表面計測結果も掲示しております。

地表面計測結果は概ね週1回、更新される予定です。地下水位の計測結果及びトンネル内湧水量も引き続き毎日更新していますので、ご覧ください。

大湫町区長会
瑞浪市役所 企画政策課

次にまた出席出来る内容があれば、参加してみたいです。

スズメが絶滅の危機だって！ それってほんと？

「大湫町自然保全委員会」(以下、保全委員会)がモニタリング1000調査に参加し、7年。

「モニタリング1000⁽¹⁾」は2003年から開始されている環境省の事業。大湫の調査⁽²⁾は毎月1回、第4日曜日に実施しています。

10月1日、「日本自然保護協会」(モニタリング1000事務局)からメディアに向けて報告がありました。

それは、18年間(2005~2022年)のまとめでした。

公表された報告によれば、気候変動を大きく受けている生き物がいると。その



アカタテハ



イチモンジセセリ

生き物とは、チョウや鳥たちでした。個体数が急減し、環境省が定めている絶滅危惧とする判定基準に達するほどでした。

チョウ類ではイチモンジセセリやアカタテハなど。鳥類では、ホトトギス、スズメなど。これらの生き物は、大湫では普通に見か

けます。思いもかけぬ報告でした。

ところが今年の秋、稲穂の上を飛び交う群スズメを見なかったことを思い出しました。これまでの秋、近くの稲田で

は鳥避けの網やキラキラ光る鳥おどしが設置されましたが、今年はそれがありませんでした。スズメの減少を耕作者は察知されていたのかもしれませんが。

棲息数が比較的多い生き物が10年で30%以上も減っているという調査結果は驚くべき報告です。全体的には農地・草地・湿地などの「開けた環境」に生育する生物が急速に減少していると。その理由としては、どうも管理放棄されていることが理由の一つではないかとの推測。だが、まだ決めつけることはできない段階ですが…。

「保全委員会」は植物を中心に調査を行っていますが、移動できない植物はある程度の変化に耐えているのかもしれませんが。長期の調査が必要です。

今後どのように変化するかは全く分かりませんが、同じコースを長期にわたり調査する定点的な観察は貴重な結果を知らせてくれるはずです。

調査は「保全委員会」のメンバーが中心。でも、これにはどなたも参加することができます。

2025年3月から3年目の開始です。調査に参加してみませんか。

文責：長谷川明

(1) 正式名称「重要生態系監視地域モニタリング事業」

(2) 3月~10月。9:00~12:00頃

令和6年度 瑞浪市美術展入賞者の紹介

少年の部 小学校

(平面の部)

釜戸小	1年「さかなをおそうサメ」	S・H	金賞 (優秀賞)
同	4年「りゅうの目のなみだ」	S・M	金賞 (優秀賞)

(立体の部)

同	2年「目がでかい魚」	M・S	銀賞 (優良賞)
同	3年「まぼろしの深海の魚」	M・A	金賞 (優秀賞)
同	6年「泣き笑う鬼」	S・S	銀賞 (優良賞)

(書写の部)

釜戸小	3年「日」	R・O	金賞 (優秀賞)
-----	-------	-----	----------

幼児園

(平面の部)

竜吟	「でんしゃ いっぱい」	R・K
----	-------------	-----

(立体の部)

竜吟	「えんそく しゅっぱつごう」	K・A
----	----------------	-----

入賞おめでとうございます。



ありがとうございました

抹茶ちやわん (新品) 4個を赤岩かつ子さん (足又区) からご寄付いただきました。

「音元」 (大杉を見ながら抹茶会。24日開催) に使わせていただきました。ありがとうございました。

大湫若手チーム ててて

せらしおのく集まろう会12月

☆太鼓は.....

音元」の太鼓は、大勢の人に見ていただいで、楽しか
ったですね。志多ら、のみはさまの演奏に、大興奮し

ました。ワークショップで、教えていただいたこと、いっ
しよに、演奏が、できたこと、本当に、ありがとうございま

した。これからもがんばります。12月1日志多ら瑞浪公演す

☆ 12月の練習は、00007日(土)と21日(土)9:30~です。

21日の練習後、おたのしみ会をやります。

11:30~ 釜戸の「さしみ」へ集まって下さい。

詳細は、LINEで!! (大湫町ミニコミュニティ推進協議会:集まろう会)



音元「志多ら」ワークショップ「楽」練習風景



2024(令和6)年 12月

丸森だより

丸森：
旧森川訓行家住宅
国登録有形文化財
瑞浪市観光案内所

□丸森の企画

・10月24日 毎年甲州屋の三浦さんから沢山の富士山柿を頂いて、丸森の軒下に吊るしていました。去年はあと少しで渋が抜けるという時に、カビが発生しお客さんにあげることなく処分。今年は温かいし、「どうかな?」と思いながら柿の木には沢山の富士山柿。町内の方から今年は「どうする?」「早くしないとずくしちゃうよ」と、声を掛けられて、「よし!今年もやろうかね」と吊し柿をやりましたが…。(ずくす=熟す)

秋の深まる頃に雨に降られ、ポタポタと落下。それでもなんとか串に刺して、挑戦しましたが、残念ながら落下するは、カビるは、ですべて11月2日に処分。



熱湯や焼酎に漬けて、やってみただけ…

・11月9日 この日は町内の防火訓練。外国人ツアーのお客さん11名が来宿される日でもあり、ちょうど放水指導を受けている時に、消防署の方が快くOKして下さい、オーストラリアの方2名がチャレンジしていただきました。

・11月25日 臨時休館日。丸森職員研修会(佐久島)愛知県の離島、自然溢れるアートの島、四季の草花に溢れる島に行ってきました。

・12月2日 もち花作りを予定。今年も赤・白で華やかなお正月を迎えましょう。

*もちろん販売もしますよ。

来場者数	町外		町内		外国関係	合計
	大人	幼小中高	大人	幼小中高		
10月度	355人	20人	43人	3人	242人	663人
11/15日迄	186人	14人	28人	3人	99人	330人
	R6,4月~	3,449人	オープン~	58,581人	前年同月比	81%

※ 年間行事計画では、「大しめ飾りづくり」は 8 日(日)「門松づくり」は 15日(日)となっていたましたが、繰下げて下記の日程に変更させていただきます。

公民館講座「蕎麦打ち教室」

おいしいそばの作り方をおしえてもらおう。

【日 時】：12月21日(土) 9:00~

【場 所】：大湫公民館 調理室

【参加費】：1,000 円(材料費込み) 3 人前の蕎麦の持ち帰りができます。

【定 員】：10 名程度(先着順)

【持ち物】：エプロン、三角巾等

【申込締切】：12月10日(火)までに申し込みをお願いします。

大しめ飾りづくり

【日 時】：12月15日(日)

8:00~

【場 所】：大湫公民館 講堂

【参加費】：無料

【申 込】：12月13日(金)まで



主催：大湫町コミュニティ推進協議会
注連縄の会

共催：大湫公民館

門松づくり

【日 時】：12月22日(日)

8:00~

【場 所】：ふれあいセンター

【申 込】：12月20日(金)まで



申し込み・問合せ

大湫公民館 ☎ 63-2360

公民館講座「新春書き初め」

【日 時】：1月6日(月) 10:00~11:30 頃

【場 所】：大湫公民館 講堂

【参加費】：無料

【持ち物】：習字道具(半紙・墨汁は公民館でも用意します。)

【申込締切】：12月20日(金)までに申し込みをお願いします。

12/31 (火) 大晦日の予定

越年マラソン

今年は通常通りの「越年マラソン」として開催
します。走ってもよし、歩いてもよしで皆さんの
ご参加をお待ちしております。



日時：12月31日(火) 23時45分スタート

場所：大湫公民館前～消防詰め所～宗昌寺

ルート：大湫公民館前－神明神社前－消防詰め所前

－西駐車場前－宗昌寺（除夜の鐘・年越し蕎麦）

体育レクリエーション委員会
委員長 小栗康彦

宗昌寺での蕎麦

23時30分頃から蕎麦の提供を予定しています。









大湫野遊びの会

宗昌寺での除夜の鐘

23時45分頃から撞くことができます。



大湫公民館・大湫町コミュニティ推進協議会からのお知らせ

	<p>リ・アップ “ひよも” 《12月のひよもの活動》 『クリスマス会』 日 時：12月4日（水）10:00～11:00 頃迄 場 所：公民館講堂</p>
	<p>大湫宿お休み処 11月24日（日）をもって今年の営業日は終了致しました。 ご利用ありがとうございました 12月から3月までお休みさせていただきます。 来年もご利用のほど宜しくお願いいたします。</p>
	<p>オススメ！！大湫分室の本 『いも・くり・かぼちゃのお菓子作り』 篠田 康代/著 ブティック社社/出版 大きなかぼちゃやサツマイモで、美味しいお菓子がたくさん できますよ！ 10月の利用者数： 12人 貸出冊数： 40冊</p>
	<p>デマンド交通 10月利用者(大湫～日吉東部) 25便 延 35名(稼働率18.9%)</p> <div data-bbox="1050 1218 1471 1339" style="border: 1px solid black; background-color: #fff9c4; padding: 5px; border-radius: 10px; display: inline-block;"> <p>皆さん、たくさん利用して下さい。</p> </div>
	<p>○特別展「美濃近代窯業の開拓者 曾根磁叟園製陶所」 日時：10月12日（土）～令和7年2月23日（日） 場所：瑞浪市陶磁資料館 瑞浪市明世町山野内1-6 ○「人間国宝 加藤孝造 追悼展」 日時：11月30日～3月16日まで 場所：岐阜県現代陶芸美術館 多治見市東町4-2-4 上記招待券2枚と1枚で2名まで入場出来る招待券が1枚あります。 公民館までどうぞ</p>
	<p>青色回転灯防犯パトロール 12月のパトロール予定者 上旬：石田 義人・奥村 敏郎 下旬：北澤 健次・渡辺 貴憲</p>

区長日記

2日(土)は、瑞浪市制施行70周年記念式典・市功労者表彰式が、市総合文化センターにて開催され出席しました。ご存じのように、瑞浪市は昭和29年に7町村が合併して誕生しました。さらなる市の発展に向けた決意を新たにしました。

2日(土)・3日(日)の大湫町文化祭には、日頃の文化芸術に関する創作活動の成果を発表していただきありがとうございました。初日はあいにくの雨模様でしたが多くの方々が来場されました。また二日目は打って変わって汗ばむほどの晴天となり、中山道を散策される方の来場も多くなりました。大湫町の優れた文化芸術に親しみ、鑑賞していただく機会となり、秋の深まりを感じました。

9日(土)は、「重点防火指導対象地域」における防火訓練に、朝より地域の方々多数にご参加いただきありがとうございます。ごさいました。「住宅用火災警報器」は設置してあります。また維持管理はできていますか。今一度点検してください。放水訓練には、観光客の外人さんも飛び入り参加

して、大湫ならではの微笑ましい光景もありました。四百年以上続く大湫町の歴史の中でも大火にまつわる出来事も多く、歴史を繰り返さないように防火意識の向上につなげていただきたいと思います。

10日(日)瑞浪市戦没者追悼式では、先の大戦で市内で1100余名の方々が尊い命を国のために捧げられたことを知りとても驚きました。世界では戦争や紛争が相次いでいますが、私は戦争を知らずに生まれ、そして育ち、また行くこともなく、戦争の無い平和な時代を過ごしてこられたのが何よりありがたく、幸せなことだとつくづく実感した一日でした。

23日(土)新嘗祭(神明神社)では、五穀豊穰を感謝いたしました。リニアトンネル掘削工事に伴い水位低下問題などで、野田の稲の作柄が心配されていましたが例年並みのことで安心しました。

今年も残すところ一カ月となりました。リニアトンネルが原因とみられる共同水源や井戸、ため池の水位低下問題など不安な毎日が続きましたが、町民皆様の大きな声が届

いたおかげで、トンネル掘削工事が一時中断となり、「県環境影響評価審査会地盤委員会」が開催されるなど加速度的に状況は変わってきました。

しかし8月に入って地盤沈下という、思ってもみなかった事態に発展し、一層の不安に陥りました。トンネルの湧水が止まらなければ地盤沈下も止まらない。そして、それにつらなる諸問題も解決できないと考えます。この状況は、毎回連合自治会で行政に報告し、機会あるごとに水野市長、小川県議会議員に訴えてきました。

そうした中、先月19日（火）に水野市長は、11月末に予定されている「岐阜県環境影響評価審査会地盤委員会」に出席して、大湫町の地盤沈下の現状を説明したいと、急遽視察の申し入れがありました。それでコミ会長と案内して、市長は自らの目と耳で住民からの声を確認されました。大湫町の環境は、長い歴史の中でさまざまな人の働きかけを通じて形成されたものです。その大湫の里山は、食料や木材など自然資源の供給、良好な景観形成、水源涵養や国土保全、身近な自然とのふれあいの場、文化の伝承など

の観点からも重要な役割を果たしています。これからも市長、県議員、市議会議員、市行政と連携を持って一日も早い原状回復に努力して行きたいと思えます。

額 額

11月2日 瑞浪市制施行70周年記念式典

2・3日 大湫町文化祭

8日 岐阜県自治連合会研修会（可児市）

定例区長会・幹事会

9日 重点防火指導対象地域における防火訓練

10日 瑞浪市戦没者追悼式

大湫音元 大湫思い出掘り起こしワークショップ

ヨップ

16日 中学生との交流会（釜戸）

19日 瑞浪市景観審議会 市長地盤沈下地区視察

23日 新嘗祭（神明神社）

24日 ひなたぼっこの集い

25日 丸森研修会（佐久島）

26日 連合自治会・合同懇親会

31	28	27	26	22	21	15	6	5	4	1	日	令和六(2024)年十二月行事予定
土	土	金	木	日	土	日	金	木	水	日	曜	
除夜の鐘 越年マラソン 年越し蕎麦打ち(野遊びの会)	大湫消防団年末夜警	丸森・公民館仕事納め	広報委員会	門松づくり	蕎麦打ち体験教室	大しめ飾りづくり	区長会・幹事会	転入対策委員会	“ひよも”クリスマス会	志多らつながらる太鼓「陽かりさす」	予定	
不燃ゴミ：12/5(木) 資源ゴミ：12/19(木)												

融雪剤あります



場所：北地区の倉庫に入っています。

利用される方は集計表に名前・月日・利用個数の記入をお願いいたします。

今年も余すところあと僅かとなりました。今年にはリニア中央新幹線トンネル工事による枯渇・湧水・地盤沈下と前に進まないことばかり。おまけに猛暑で秋がなく、いきなり師走に突入か？

編集後記

㊦

クテの市

11月28日(木)をもって本年は終了いたしました。来年は4月中旬より開始の予定です。来年もよろしくお願いいたします。

大湫公民館

編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
2024(令和6)年12月1日 瑞浪市大湫町422-1 ☎0572-63-2360
<http://okute-shuku.jp>

表紙写真
棚橋 哲夫